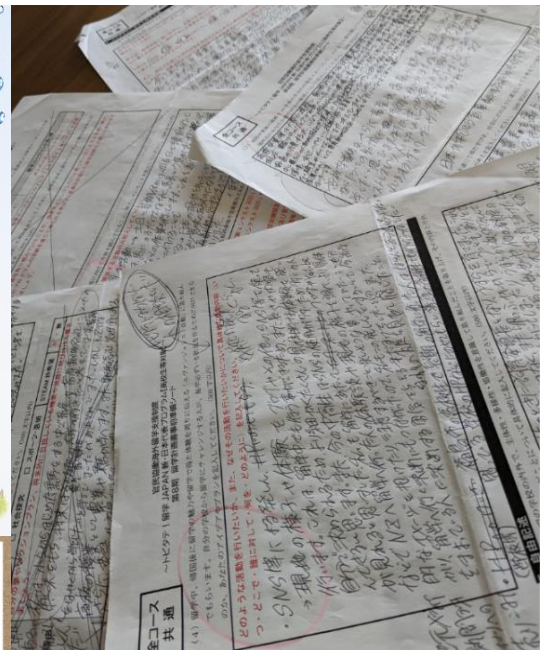


アニマルウェルフェアとは

5つの自由

- ① 飢え、渇き及び栄養不良からの自由
- ② 恐怖及び苦悩からの自由
- ③ 物理的及び熱不快からの自由
- ④ 苦痛、傷害及び疫病からの自由
- ⑤ 通常の行動様式を発展する自由



↑ 応募用紙の下書きたち

用紙を一度印刷して、書き込みをたくさんして計画をまとめあげました。



↓ 写真嫌いな牛たち
せっかくなので写真を撮りたかったのですが逃げられましたww



現在、日本の乳牛の約7割が右の写真のようにつなぎ飼いで飼育されています。また、その約半数が出産直前まで繋がれ続けている、つまり一生繋がれたままである可能性があるそうです。

つなぎ飼いは、牛にとってストレスが大きく運動することもできないため足腰が弱ってしまいます。そのため、つなぎ飼いで飼育されている牛は、そうでない牛よりも病気になりやすく、けがもしやすいため、寿命も短いことが多いそうです。

また、子牛は生まれてすぐに母親から離されてしまいます。そして、乳牛ではそのうち25%が上のようなつなぎ飼ひ、50%が右の写真のような1頭1頭がケージに入れられる単飼によって飼育されています。引き離しは、母牛と子牛、両方にとってストレスとなり、下痢やほかの牛のへそを吸うなどといった問題行動を引き起こすこともあるそうです。



ちっちゃな障害を飛ばす練習風景
練習をしているところです。前傾しすぎ！



↑ 一緒に活動しているお馬さんたち
馬房(馬の部屋)の掃除や馬の手入れも行っています



酪農農家での研修の様子

酪農農家での研修では、施設の説明の受けた後、子牛のミルクやりや搾乳の体験をしました。搾乳の機械に触らせてもらうなど、貴重な体験をすることができました。

← 左：牛舎の様子(フリーバーン)

右：搾乳場で撮りました。右と左に10頭ずつ、計20頭を同時に搾乳できます。流れ作業でスムーズに行っていました。

右の牛のおでこの赤色は、出産が近いという印だそうです。けがをしているわけではありません。

